



平成 26 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 27 年 3 月期第 2 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	2,722	403	475	327
当期実績見込み (平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	2,514	304	326	254
増 減 額 (B - A)	△208	△99	△149	△73
増 減 率 (%)	△7.6	△24.5	△31.3	△22.2
(ご参考) 平成 26 年 3 月期実績	4,975	553	620	445

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動から回復が遅れ、輸出もアジア向けがさえず次第に弱めの動きとなりました。しかしながら、公共投資は高水準にあり、企業の設備投資も緩やかな増加傾向を維持するなかで雇用情勢は改善し、個人消費も底堅く推移するなど、基調としては緩やかな回復傾向を持続しました。

商品市況は、石油は中東情勢を背景とした上昇から急反落、貴金属は米国の早期利上げ観測によるドル高を受けて下落、穀物は米国の豊作見通しから大幅下落となり、全国市場売買高は 19,758 千枚（前年同期比 69.5%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は 2,228 百万円（前年同期比 91.2%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場における売買損益が減少したこともあり、26 百万円の利益（前年同期比 70.6%）となりました。

この結果、営業収益は 2,514 百万円（前年同期比 92.4%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、2,209 百万円（前年同期比 95.3%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は 304 百万円（前年同期比 75.5%）、経常利益は 326 百万円（前年同期比 68.7%）、四半期純利益は 254 百万円（前年同期比 77.8%）をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上